

関係各位

愛知県農業総合試験場長
(公印省略)

病害虫発生予察情報について(送付)
このことについて、下記のとおり発表しましたので、参考にしてください。
記
令和2年度病害虫発生予報第11号(2月)

担当 環境基盤研究部病害虫防除室
電話 0561-62-0085
内線 471
ファックス 0561-63-7820

令和2年度病害虫発生予報第11号(2月)

令和3年2月1日
愛知県

野菜

・予報内容

作物名	病害虫名	発生量 (発生時期)	主な 発生地域	予報の根拠	予報への 影響
タマネギ	白色疫病	平年並	県全域	1月下旬の発生量は平年並 2月の降水量はほぼ平年並	± ±
	べと病	平年並	県全域	1月下旬の発生量は平年並 (発生を認めていない) 2月の降水量はほぼ平年並	± ±
トマト (施設)	葉かび病	平年並	県全域	1月下旬の発生量は平年並 2月の日照時間はほぼ平年並	± ±
	灰色かび病	平年並	県全域	1月下旬の発生量は平年並 2月の日照時間はほぼ平年並	± ±
ナス (施設)	すすかび病	やや少ない	県全域	1月下旬の発生量はやや少ない 2月の日照時間はほぼ平年並	－ ±
	うどんこ病	やや少ない	県全域	1月下旬の発生量はやや少ない	－
	灰色かび病	平年並	県全域	1月下旬の発生量は平年並 2月の日照時間はほぼ平年並	± ±
	ミナミキイロ アザミウマ	少ない	県全域	1月下旬の発生量は少ない	－

作物名	病害虫名	発生量 (発生時期)	主な 発生地域	予報の根拠	予報への影響
キュウリ (施設)	べと病	少ない	県全域	1月下旬の発生量は少ない 2月の日照時間はほぼ平年並	±
	うどんこ病	少ない	県全域	1月下旬の発生量は少ない	—
	灰色かび病	平年並	県全域	1月下旬の発生量は平年並 2月の日照時間はほぼ平年並	±
	ミナミキイロ アザミウマ	やや少ない	県全域	1月下旬の発生量はやや少ない	—
イチゴ (施設)	灰色かび病	平年並	県全域	1月下旬の発生量は平年並 2月の日照時間はほぼ平年並	±
	うどんこ病	平年並	県全域	1月下旬の発生量は平年並	±
	ハダニ類	やや少ない	県全域	1月下旬の発生量はやや少ない	—

・留意事項

タマネギのべと病や白色疫病は、暖かく降水量が多いと発生しやすくなります。気温が高いと予想されているため、注意が必要です。天候やほ場での発生状況に注意し、予防散布を行いましょう。

気温が高いと予想されているため、暖房機の稼働時間が短くなり施設内が乾きにくくなる可能性があります。多湿は灰色かび病などの病害発生に好適な条件となるため、過剰なかん水を避け、換気を行う等、施設内が多湿にならないようにしまししょう。ほ場での発生状況に十分注意し、発生を確認したら防除しまししょう。

日射量が多くなり、施設内の気温が上がってくる季節です。ミナミキイロアザミウマやコナジラミ類等害虫の増殖スピードが速まるので、ほ場での発生に注意しまししょう。

イチゴのハダニ類の発生量はやや少ない状況ですが、多発しているほ場もあります。多発すると防除が困難になるので、早めに防除しまししょう。天敵を導入している、あるいは導入を予定している場合は、それらの影響日数に注意して農薬を選定しまししょう。

発生量に関する用語については、ホームページ「あいち病害虫情報」（アドレス：<http://www.pref.aichi.jp/site/byogaichu/yougo.htm>）を参照してください。

参考

東海地方 1か月予報（名古屋地方気象台1月28日発表）

<特に注意を要する事項>

期間の前半は気温がかなり高くなる可能性があります。

<予想される向こう1か月の天候>

向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候と、特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。

平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

向こう1か月の平均気温は、高い確率60%です。

週別の気温は、1週目は、高い確率70%です。2週目は、高い確率60%です。3～4週目は、平年並または高い確率ともに40%です。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率>

〔気温〕 低い：10% 平年並：30% 高い：60%

〔降水量〕 少ない：40% 平年並：30% 多い：30%

〔日照時間〕 少ない：30% 平年並：30% 多い：40%